

| | | | | | | | |
|-------------------|--|-----------|---|------------|-----------|-----------|-----|
| 科目ナンバー | HIS-3-007-sn | | | 科目名 | 地域史研究 | | |
| 教員名 | 野口 華世 | | | 開講年度学期 | 2020年度 後期 | 単位数 | 2 |
| 概要 | ・群馬県の歴史を通して、日本史を具体的に学ぶ。 ・本学周辺の地域の歴史や地形を具体的に学ぶ。 ・群馬のことを知り、群馬をより好きになる授業でもある。 | | | | | | |
| 到達目標 | ・群馬県の歴史や風土、その特色を知る。 ・現地見学をおこない、歴史を身近に体験する。 ・古文書に親しむ。 ・ディスカッションや発表(プレゼン)を通して、自分の考えを発表し、他の人の意見を理解する力をつける。 ・大学周辺や自分の地元の歴史や史跡について、自信をもって話したり叙述したりできるようになる。これは様々な社会のなかで有効なツールでもある。 ・上記をふまえ、的確な日本語を用いて「地域史」を自分なりに叙述できるようになる、ということが到達目標である。 | | | | | | |
| 「共愛12の力」との対応 | | | | | | | |
| 識見 | | 自律する力 | | コミュニケーション力 | | 問題に対応する力 | |
| 共生のための知識 | ○ | 自己を理解する力 | | 伝え合う力 | ○ | 分析し、思考する力 | ○ |
| 共生のための態度 | | 自己を抑制する力 | | 協働する力 | ○ | 構想し、実行する力 | |
| グローバル・マインド | | 主体性 | ○ | 関係を構築する力 | ○ | 実践的スキル | |
| 教授法及び課題のフィードバック方法 | ・講義をする回と、フィールドワークの回と、グループワークやプレゼンの回がある。 ・大室公園など、現地での史跡見学(フィールドワーク)を実施する。見学後は、毎回レポートを書いて提出してもらう。 ・史跡見学の前には、事前学習を行う。講義で学んだのちグループに分かれて見所を調べ学習し、それについて話し合う。 ・史跡見学の後には、事後学習を行う。グループに分かれて見学について発表し合い、振り返りを行う。 ・古文書(くずし字)にもふれて、当時の人びとの考えに接する。 ・授業をよりよく理解するために、下記の参考文献を準備学習に活用する。 | | | | | | |
| アクティブラーニング | ○ | サービスラーニング | | 課題解決型学修 | | | |
| 受講条件 前提科目 | ・授業の「現地見学(フィールドワーク)」は本学のマイクロバスを利用するので、受講人数の制限をおこなう。22名を予定している。 ・特に「現地見学(フィールドワーク)」を重視しているので、見学予定日には必ず出席できること。 ・「群馬の産業と社会Ⅰ・Ⅱ」「群馬の人と思想」「日本史概説」「日本近代史」をあわせて履修することで、理解が深まる。 | | | | | | |
| アセスメントポリシー及び評価方法 | ・定期試験時のレポート(40%)、現地見学後のレポート・課題・発表(40%)、授業への取り組み姿勢を含めた平常点(20%)で総合的に評価する。 | | | | | | |
| 教材 | ・担当者作成のプリント(レジュメ・史料・資料など)を使用して授業をおこなうので、指定のテキストは特にない。 | | | | | | |
| 参考図書 | ・『日本史のアーカイブ』とうほう(持っている人は授業時に持参すること) ・『図説群馬の歴史』河出書房新社、1989年 ・『史料でよみとく群馬の歴史』山川出版社、2007年・『群馬県の歴史』山川出版社、1997年 ・『群馬県史 通史編』群馬県、1989年～1992年 ・『演習古文書選』吉川弘文館、1971年～1980年 *その他の参考文献は授業でも紹介する。 | | | | | | |
| 内容・スケジュール | | | | | | | |
| 1週目 | | | | | | | |
| 授業学修内容 | ガイダンス(概要紹介) | | | | | | |
| 授業外学修内容 | シラバスを読んでくる。 | | | | | 時間数 | 0.5 |
| 2週目 | | | | | | | |
| 授業学修内容 | 地域史研究の意義(グループワークを含む) | | | | | | |
| 授業外学修内 | 振り返りとして、授業でのディスカッションをふまえ地域史研究の意義を考 | | | | | | |

| | | | |
|---------|---|-----|-----|
| 容 | えてレポートを書く。 | 時間数 | 1 |
| 3週目 | | | |
| 授業学修内容 | 「大室古墳群」(事前学習)、「群馬の古代」(グループワークを含む) | | |
| 授業外学修内容 | 準備学習として「大室古墳群」や「群馬の古代」についての参考文献を参照する。振り返りとして、授業内容を復習する。 | 時間数 | 1 |
| 4週目 | | | |
| 授業学修内容 | 現地見学(フィールドワーク) その1(大室古墳群) | | |
| 授業外学修内容 | 振り返りとして、フィールドワークに関するレポートを作成する。 | 時間数 | 2 |
| 5週目 | | | |
| 授業学修内容 | 「大室古墳群」事後学習(グループワークを含む) | | |
| 授業外学修内容 | 振り返りとして、ディスカッションした内容を復習する。 | 時間数 | 0.5 |
| 6週目 | | | |
| 授業学修内容 | 「大胡城址」(事前学習)、「群馬の中世」(グループワークを含む) | | |
| 授業外学修内容 | 準備学習として「大胡城址」や「群馬の中世」についての参考文献を参照する。振り返りとして、授業内容を復習する。 | 時間数 | 1 |
| 7週目 | | | |
| 授業学修内容 | 現地見学(フィールドワーク) その2(大胡城址) | | |
| 授業外学修内容 | 振り返りとして、フィールドワークに関するレポートを作成する。 | 時間数 | 2 |
| 8週目 | | | |
| 授業学修内容 | 「大胡城址」事後学習(グループワークを含む) | | |
| 授業外学修内容 | 振り返りとして、ディスカッションした内容を復習する。 | 時間数 | 0.5 |
| 9週目 | | | |
| 授業学修内容 | 「大室民家園」(事前学習)、「群馬の近世」(グループワークを含む) | | |
| 授業外学修内容 | 準備学習として「大室民家園」や「群馬の近世」についての参考文献を参照する。振り返りとして、授業内容を復習する。 | 時間数 | 1 |
| 10週目 | | | |
| 授業学修内容 | 現地見学(フィールドワーク) その3(大室民家園) | | |
| 授業外学修内容 | 振り返りとして、フィールドワークに関するレポートを作成する。 | 時間数 | 2 |
| 11週目 | | | |
| 授業学修内容 | 「大室民家園」事後学習(グループワークを含む) | | |
| 授業外学修内容 | 振り返りとして、ディスカッションした内容を復習する。 | 時間数 | 0.5 |
| 12週目 | | | |
| 授業学修内容 | 古文書読解 その1ー近世の古文書を読むー | | |
| 授業外学修内容 | 準備学習として配布された古文書プリントを読んでみる。振り返りとして授業で読んだ古文書を復習する。 | 時間数 | 1 |
| 13週目 | | | |
| 授業学修内容 | 古文書読解 その2ー中世の古文書を読むー | | |
| 授業外学修内容 | 準備学習として配布された古文書プリントを読んでみる。振り返りとして授業で読んだ古文書を復習する。 | 時間数 | 1 |
| 14週目 | | | |
| 授業学修内容 | 自分の地元の史跡を発表しよう(プレゼンテーション) | | |
| 授業外学修内容 | プレゼンテーション用のパワーポイントあるいはレジュメの作成をする。レポートを作成する。 | 時間数 | 3 |
| 15週目 | | | |
| | 授業のまとめ 一地域史と史跡ー*以上の授業の順番・内容などは進度・理解度などにより変更する場合がございます | | |

| | | | | | |
|----------------|------------------------|-------------------|----------------------------|---------|---|
| 授業学修内容 | ある。 | | | | |
| 授業外学修内容 | レポートを作成する | 時間数 | 4 | | |
| 上記の授業外学修時間の合計 | | | 21 | | |
| その他に必要な自習時間 | | | 69 | | |
| | | | | | |
| Number | HIS-3-007-sn | Subject | Local History Studies | | |
| Name | 野口 華世 (Noguchi Hanayo) | Year and semester | S Second semester for 2020 | Credits | 2 |
| Course outline | O #NAME? | | | | |
| | | | | | |